

## 湯殿山行報告

【山行日】 2025年2月23日（日）

【集 合】 岩舟支所 P 7:00

【費 用】 マイカー1台 : 500円

【メンバー】 CL鈴木ユ S 青柳、  
飯口、大塚、岸、石澤、福島、藤原7

【コースタイム】岩舟支所 P 7:00＝彦谷自治会館

P7:30/7:40～東登山口 8:00 ～天池山

8:20/8:30～三角点 9:00/9:05～湯殿山

9:10/9:20 ～送電塔 10:10/10:20～西登山口

10:35～彦谷自治会館 P10:45/11:00 ＝

餃子の王将 11:20/12:00＝岩舟支所 P12:40

今日と明日で美ヶ原ヘスノーシューハイクに出かける予定だったが私のめまいが快復せず中止となり、代替山行として湯殿山を計画した。湯殿山は足利市にありアクセスが



近く、3時間程度で登れる楽しいコースである。急な案内にもかかわらず、7名の申し込みがあり8名で岩舟支所を出発した。岩舟支所から国道50号線を桐生方面に向かい、太田市の原宿南交差点を右折し葉鹿町を通って彦谷自治会館に車を止める。まだ我々の車しか無く、それほど登る人はいないのかなと思ったが、下山すると駐車場いっぱいになり車が止まっていた。自治会館裏側のトイレが解放されており、皆さ

ん交代でトイレを済ませる。ストレッチを済ませたら出発し、道路に出て左に道なりに歩いて行く。山間部の道を進むと右側にため池が見え、この少し先に湯殿山東登山口の小さな標識がある。ここから左に山道を登って行き、谷沿いの薄暗い道から左に曲がって山腹を巻くように登って行く。

山腹を回り込んで登ると南側の尾根に出て、明るく日当たりが良い尾根を登るようになる。自然林の気持が良い尾根を進むと、ベンチがあり天池山山頂に着く。展望は無いが小休止し、衣服調整と水分補給を行う。少し下ると左側にイノシシが泥浴びをする「ヌタ場」があるが、雨が降らないのでカラカラに乾いていた。



小さなアップダウンを繰り返しながら進むと栗谷分岐に出て、さらに下ると送電鉄塔の下を通過して進む。鉄塔の先から急な岩場の登りになるが、岩場が苦手な人には右に巻



き道がつけられている。今日のメンバーは皆さん大丈夫と言うので、全員岩場の登りに挑戦する。難しい岩場ではないので、赤いペンキマークを外さないように登れば問題なく登れる。登り切ると展望が開け、南側に太田市や足利市の街並や富士山、浅間山等が見渡せる。ここに「湯殿山392m」の小さな標識があるが、湯殿山の山頂はこの先にある。岩の急な尾根を少し進むと、湯殿山神社の石の立派な祠が鎮座する湯殿山山頂

に着く。山頂のすぐ下に手作りのベンチとテーブルがあり、ベンチに腰かけて休憩する。クッキーやプリン、チョコパイ等皆さんが持参したおやつが次々と出され、景色を楽しみながら美味しくいただいた。おやつタイムが済んだら祠の前で記念写真を撮り、西側の尾根を進み下山開始する。北側に石尊山や深高山、仙人ヶ岳等見ながら進み、南側の尾根に回り込むように下って行く。

すぐ先に「槍展望台」と札が掛けてあり、南側に北アルプスらしき真っ白な峰々が見えるが、槍ヶ岳の穂先は確認できなかった。浅間山や赤城山等の展望を楽しみながら下って行くが、岩のザレた下りが続くので足元を見ながら慎重に下って行く。小さなアップダウンを繰り返しながらグングン高度



を下げて行き、送電塔が建つピークに登り返して小休止する。リンゴを食べながら往路で登った尾根を見て、「あそこを登って山頂に行ったんだね」と確認する。送電塔からは下り一方で、大規模な太陽光発電の脇を通ると広い道に出る。ここを左折し広い道を下ると彦谷自治会館の駐車場に着く。靴を履き替えトイレを済ませたら車に乗り、昼食を予定している「餃子の王将」へ向かう。11時過ぎに着いたが並んでいて、受付をして番号札を貰い並んで待つ。10分程待って2つのテーブルに分かれて案内され、それぞれ好きな物をオーダーしていただいた。値上げの波はここにも押し寄せていて、以前より200円ほど値上げされたように感じた。12時には食べ終わり、予定より1時間以上早く岩舟支所に帰着できた。